

最先端ICT技術を河川現場で体験しよう！

○ 将来の建設業の担い手である栃木県立那須清峰高等学校建設工学科の3年生39名の皆さんに、令和元年東日本台風（台風第19号）による出水で被災し災害復旧を行っていた「R1那珂川右岸小川下流地先低水護岸災害復旧工事」の現場で、**実際に工事で使っていた最先端のICT技術**を体験していただきました。

開催日：令和3年4月22日（木）
参加者：栃木県立那須清峰高等学校建設工学科3年生（39名）
場所：栃木県那珂川町小川地先
工事名：R1那珂川右岸小川下流地先低水護岸災害復旧工事
施工者：東洋建設株式会社
主催者：常陸河川国道事務所

事業概要の説明

災害復旧事業の説明（常陸河川）



ICT技術の紹介（東洋建設）



ICT技術の体験

ドローンのデータ確認



マシンコントロールバックホウ



GNSS 3次元施工管理 ロードランナー



地上型レーザースキャナー（TLS）のデータ確認



マシンコントロールブルドーザー



ロードランナーで計測したデータを確認



集合写真



生徒の感想

- ◆最先端の重機での施工を映像ではなく実機で見ることができたので、良く分かりました。
- ◆学校でやっている事よりも、実際の現場はスケールが大きいことを実感しました。
- ◆授業で教わらないことを現場で学ぶことができ、今後の進路にも役立つ良い機会になりました。
- ◆今年、就職や進学をする私たちにとって、とても貴重な経験になりました。ありがとうございました。